

平成28年度 清流の国ぎふ森林・環境基金事業 評価シート(概要版)

平成29年7月21日現在

部門	所管部	施策区分	事業名	ページ	備考	
森林部門	林政部	環境保全を目的とした水源林等の整備	環境保全林整備事業	1		
			水源林境界明確化促進事業	2		
			県民協働による森の通信簿事業	3		
			水源林公有林化支援事業	4		
		里山林の整備・利用の促進	里山林整備事業	5		
			環境保全モデル林整備事業	6		
		公共施設等における県産材の利用促進	木の香る快適な教育施設等整備事業	7		
			ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業	8		
			ぎふの木育教材導入支援事業	9		
			木質バイオマス利用施設導入促進事業	10		
			県民協働による未利用材の搬出促進事業	11		
		地域が主体となった環境保全活動の促進1	森と木と水の環境教育推進事業	12		
			清流の国ぎふ地域活動支援事業	13		
		共通施策	清流の国ぎふ市町村提案事業	14		
環境部門	環境生活部 農政部 県土整備部	生物多様性・水環境の保全1	流域清掃活動推進事業	15		
			流域協働による効率的な河川清掃事業	16		
			イタセンパラ生息域外保全推進事業	17		
			野生生物保護管理事業 (ニホンジカの捕獲、捕獲オリ等の購入、捕獲の担い手確保)	18-20		
			野生動物総合対策推進事業	21		
			上流域と下流域の交流事業	22		
			地域協働水質改善事業	23		
		地域が主体となった環境保全活動の促進2	森から生まれる環境価値普及促進事業	24		
			エコツーリズム促進事業	25		
			生物多様性に配慮した地域づくり普及推進事業	26		
		農政部	生物多様性・水環境の保全2	生きものにぎわうため池再生事業	27	
				生きものにぎわう水田再生事業	28	
				里地里川生態系保全支援事業 (団体支援、市町村支援)	29-30	
		県土整備部		河川魚道の機能回復事業	31	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	森林整備課
-----	-------

① 事業名	環境保全林整備事業
② 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の林業経営では採算の合わない飲用水や農業用水等の水源地域や渓流域、急傾斜地等の森林の整備・保全を推進するため、間伐等を支援し、環境を重視した森林づくりを進める。 ・水源地域周辺や急傾斜地等における森林環境の改善により、森林の公益的機能の維持増進が図られる。
③ 事業主体	市町村、森林組合、生産森林組合、森林組合連合会、森林整備法人、林業事業体、特定非営利活動法人等
④ 事業概要	市町村森林整備計画で水源涵養機能維持増進森林又は山地災害防止機能／土壌保全機能維持増進森林に区分された水源林、溪畔林等において間伐を実施。

28年度の実施内容

県内の30市町村の活動に対し助成を行った。

実施状況写真	 <p>間伐実施前</p>	 <p>間伐実施後</p>
--------	--	--

事業実績	事業量	計 画 (A)	実 績 (B)	進捗率(B/A)
		3,000ha	2,801ha	93.4 %
	事業費	452,179千円	404,621千円	90 %

事業効果	自己評価	計画事業量3,000haに対し、実績量は2,801haと計画どおりに事業を実施することができ、水源地域周辺や急傾斜地等における森林環境を改善し、森林の公益的機能の回復を図ることができた。
	高く評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	計 画 (ha)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		実 績 (ha)	2,200	3,423	3,300	3,500	3,000	15,000
		進捗率 (%)	1,633	2,181	2,643	3,382	2,801	12,640
	事業費 (千円)	74.2	63.7	80.1	96.6	93.4	84.3	
		285,110	217,609	332,573	449,087	404,621	1,689,000	

事業効果	自己評価	・第1期計画量の8割程度の面積の間伐を実施した。間伐を実施した箇所は、形状比(樹高÷胸高直径)の改善が見られたほか、下層植生被覆率(地表から高さ50cm以下の植物が地面を覆っている割合)も増加しており、森林環境に改善が見られる。 ・事業の要望が多いことから、本事業は29年度以降も継続する。
	高く評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	治山課
-----	-----

① 事業名	水源林境界明確化促進事業
② 事業目的	重要な水源林における境界の明確化と保安林の指定推進
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	水源林の機能強化等に必要な境界の明確化作業等への助成

28年度の実施内容

(該当なし)

実施状況写真



現地調査(測量)



現地調査(杭打ち)

(※写真は26,27年度のもの)

事業実績

	計画 (A)	実績(B)	進捗率(B/A)
事業量	67ha	0ha	0.0 %
事業費	10,170千円	0千円	0.0 %

事業効果

自己評価
あまり評価できない

・H25～27年度の事業地232.87haのうち、205.5267ha(88%)について保安林指定済みまたは指定の見込みがたっている。
・H28年度は事業の掘り起しに努めたが、市町村からの要望がなく、不執行となった。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
事業量	計画 (ha)	/	100	100	100	67	400
	実績 (ha)	/	79.33	68.21	85.33	0.00	232.87
	進捗率 (%)	/	79.3	68.2	85.3	0.0	58.2
事業費 (千円)		/	11,580	9,865	11,502	0	32,947

事業効果

自己評価
概ね評価できる

・事業実績は計画に対し58%に留まったものの、事業実施面積の88%において保安林に指定済みまたは指定の見込みがたっており、概ね評価できる。
・市町村からの要望が低調であることから、29年度以降は事業を廃止する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	治山課
-----	-----

① 事業名	県民協働による森の通信簿事業
② 事業目的	水源林等における森林機能の評価を通じ森林保全に対する理解を深める
③ 事業主体	法人、団体
④ 事業概要	森林機能の評価に関するグループ活動への助成

28年度の実施内容

NPOなどが取り組む森林機能の評価に関する活動を支援した。

実施状況写真



水質の調査
(郡上市・白鳥町林生会)



木の混み具合の調査
(白川町・白川の里山を守る会)



森林土壌の調査
(中津川市・付知町優良材生産研究会)

事業実績

		計 画 (A)	実 績 (B)	進捗率(B/A)
事業量		3グループ	3グループ	100.0 %
事業費		3,000千円	2,484千円	82.8 %

事業効果

自己評価
概ね評価できる

森の通信簿事業を通して、水源林保全に対する理解が深まった。

第1期 事業実績 及び 評価

			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
事業実績	事業量	計 画 (グループ数)	/	/	5	3	3	11
		実 績 (グループ数)	/	/	5	3	3	11
		進捗率 (%)	/	/	100.0	100.0	100.0	100.0
		事業費 (千円)	/	/	3,827	2,866	2,484	9,177

事業効果

自己評価
概ね評価できる

・当初計画どおり11グループの活動を支援した。
 ・水源林の現状把握を通して、水源林保全の機運を高めることができた。
 ・継続的にグループ活動に取り組むことにより、水源林の適正な保全につながることを期待される。
 ・森林機能の評価する団体の育成の目標を達成したため、28年度で事業を終了する。



清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	治山課
-----	-----

① 事業名	水源林公有林化支援事業
② 事業目的	水源林の公有林化による適正な森林管理の促進 水源林の公有林化を進めるため、水源林が有する公益的機能について広く県民に周知する
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	市町村の森林取得に対する助成 水源林の役割について楽しく学び、水源林への関心を高める活動を実施

28年度の実施内容

水源地域の森林を取得した2町に助成した。県が親と子の水源林教室を5地域で開催した。

実施状況写真	 <p>公有林化された森林 (八百津町)</p>	 <p>公有林化された森林 (白川町)</p>
--------	---	--

事業実績	事業量	計 画 (A)	実 績 (B)	進捗率(B/A)
		20ha	3.36ha	16.8 %
	事業費	12,248千円	8,290千円	67.7 %

事業効果	自己評価	市町村からの要望が少なく17%の進捗にとどまったが、2町の重要な水源林の公有林化を支援し、水源林の適切な保全・管理が図られた。 また、5地域で親子水源林教室を開催し、水源林保全への理解を深めることにつながった。
	概ね評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	計 画 (ha)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		実 績 (ha)	20	40	35	35	20	150
		進捗率 (%)	4.03	11.30	32.85	25.63	3.36	77.17
	事業費 (千円)	20.2	28.3	93.9	73.2	16.8	51.4	
		事業費 (千円)	3,224	9,937	27,426	21,738	8,290	70,615

事業効果	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・3市町の水源林の公有林化を支援し、水源林の適切な保全管理が図られた。 ・計画面積は下回ったものの、将来にわたり水源林を適切に管理し、地域住民の安全で快適な生活環境を保全するため事業の必要性は高い。 ・本事業は、市町村が対応できない場合、県の直接購入も可能にするよう拡充をして、29年度以降も継続する。
	概ね評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	恵みの森づくり推進課
-----	------------

① 事業名	里山林整備事業
② 事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・野生鳥獣による被害の軽減など地域住民の生活環境の保全や生物多様性の保全を図るため、里山林の整備に要する経費を助成する。 ・住宅街・集落、農地周辺や生活道路沿線の森林整備等が行われることにより、里山林の快適環境形成機能や保健文化機能の維持増進が図られる。
③ 事業主体	市町村、森林組合、林業事業体、特定非営利活動法人等
④ 事業概要	集落・農地等周辺の里山林整備の助成

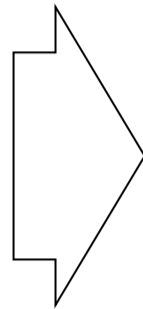
28年度の実施内容

485.80haの里山林の整備を行った。また、8カ所の施設の改修を行った。

実施状況写真



整備前



(中津川市茄子川堀田)



整備後

事業実績

事業量	計画 (A)	実績 (B)	進捗率 (B/A)
	600ha	485.80ha	81.0 %
事業費	244,900千円	233,584千円	95.4 %

事業効果

自己評価
高く評価できる

- ・選木等に経費と時間がかかる危険木の除去を多く実施したため、整備面積は485.80haと計画値を下回ったが、住民の安心・安全に直結する事業を実施することができたことから高く評価できる。
- ・整備実施後の地域住民に対するアンケート調査結果では、住民から高い評価を得ることができた。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
事業量	計画 (ha)	280	400	600	600	600	2,600
	実績 (ha)	240.83	454.31	923.92	544.44	485.80	2,649.30
	進捗率 (%)	86.0	113.6	154.0	90.7	81.0	101.9
事業費 (千円)		50,194	108,821	273,784	252,162	233,584	918,545

事業効果

自己評価
高く評価できる

- ・計画を上回る整備を実施することができ、地域住民の生活環境の保全を図ることができた。
- ・第1期の途中からバッファゾーンの整備をメニューに追加し、野生鳥獣の被害軽減などの住民のニーズに沿った環境保全の推進が図られた。
- ・森林地域外の危険木の除去など、より多くのニーズに対応できるよう内容を拡充し、本事業は29年度以降も継続する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	恵みの森づくり推進課
-----	------------

① 事業名	環境保全モデル林整備事業
② 事業目的	・既存の林業経営では採算の合わない里山林等の整備・保全を推進するため、環境保全モデル林の指定、整備・活用計画策定、森林や施設の整備を行い環境を重視した森林づくりを進める。 ・環境保全モデル林を指定して整備・活用計画を策定する。計画に基づき整備を行い、その後は里山活動団体により継続的な森林整備や森林資源の利活用が図られる。
③ 事業主体	県
④ 事業概要	環境保全モデル林の整備、指定、計画の策定

28年度の実施内容

揖斐川町のモデル林、第5号揖斐川町城台山のモデル林整備を行った。

実施状況写真		
	遊歩道	展望台

事業実績	事業量	計画 (A)	実績(B)	進捗率(B/A)
		1箇所	1箇所	100.0 %
	事業費	50,000千円	46,084千円	92.2 %

事業効果	自己評価	・揖斐川町城台山のモデル林として、管理棟や展望台など、環境学習や里山体験の提供といった里山利活用を進めるフィールドを整備した。 ・すでに整備を行った美濃市、可児市、土岐市、中津川市のモデル林では、フィールドを活用した里山利用の活動を実施することができた。
	高く評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	計画 (箇所)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		実績 (箇所)	選定1	選定1/整備1	選定1/整備1	選定1/整備2	整備1	選定5/整備5
		進捗率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	事業費 (千円)	3,160	47,499	50,153	93,241	46,084	240,137	

事業効果	自己評価	・県内5箇所で環境保全モデル林を整備することができ、地域住民の団体(プレーヤー)が中心になって、環境教育、里山体験、観光との連携、林業の歴史や文化の体験といった地域の特色に合わせた里山利活用を進めていくことができた。 ・モデル事業として県内5箇所の整備を実施したため、28年度で事業を終了する。 ・今後はプレーヤー等による活用状況について情報収集・発信することで、新たな里山活用方法の全県への展開をはかる。
	高く評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	県産材流通課
-----	--------

① 事業名	木の香る快適な教育施設等整備事業
② 事業目的	教育福祉関連施設等の木造化や内装木質化を促進
③ 事業主体	法人、団体
④ 事業概要	教育福祉関連施設等の木造化、内装木質化の助成

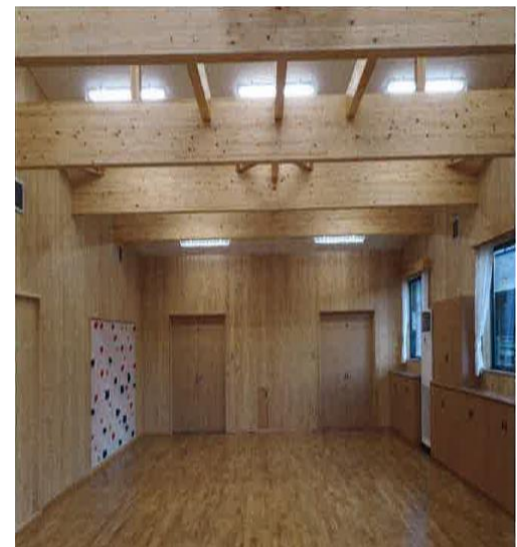
28年度の実施内容

4市3町の教育福祉関連施設等に対し助成を行った。

実施状況写真



関市立南ヶ丘保育園(関市)



親子教室(川辺町)

事業実績

	事業量	計画 (A)	実績(B)	進捗率(B/A)
	事業量	12施設	7施設	58.3 %
	事業費	158,000千円	68,755千円	43.5 %

事業効果

自己評価	・4市3町の教育福祉関連施設等に対し助成し、4施設の木造化、3施設の内装木質化が実現された。 ・整備施設数は計画値を下回ったが、1施設当たりの県産材使用量は計画値を60%上回り高い成果を得ることができた。
概ね評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
事業量	計画 (施設数)	6	9	13	8	12	65
	実績 (施設数)	3	9	12	10	7	41
	進捗率 (%)	50.0	100.0	92.3	125.0	58.3	63.1
事業費 (千円)		37,429	140,156	188,405	102,755	68,755	537,500

事業効果

自己評価	・第1期を通じて、要望が寄せられた教育福祉関連施設等に対し木造化・内装木質化について助成し、施設数は計画を下回ったが、県産材使用量は計画の約98%にのぼり、県産材の使用量の増加という目標は概ね達成することができた。 ・事業の要望が多いことから、本事業は29年度以降も継続する。
概ね評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	県産材流通課
-----	--------

① 事業名	ぎふの木で学校まるごと木製品導入事業
② 事業目的	教育関連施設等における木製の机、椅子等の導入を支援
③ 事業主体	法人、団体
④ 事業概要	学校等の机・椅子等の導入の助成

28年度の実施内容

13市6町1村にある36の教育福祉関連施設等に対し助成を行った。

実施状況写真



子どもセンター(本巣市)



にこにこサロン(岐阜市)

事業実績

	事業量	計画 (A)	実績(B)	進捗率(B/A)
		1,232セット	1,673セット	135.8 %
	事業費	36,000千円	29,846千円	82.9 %

事業効果

自己評価
高く評価できる

13市6町1村において事業を実施し、保育園・学校等への木製品導入について21施設、木育ひろば設置について15施設に対し、県産材木製品1,673セットの導入を支援しました。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績				24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期計
		事業量	計画 (セット数)	900	1,200	1,200	1,200	1,232	6,000
			実績 (セット数)	688	767	578	1,895	1,673	5,601
			進捗率 (%)	76.4	63.9	48.2	157.9	135.8	93.4
事業費 (千円)		6,810	9,082	11,144	28,796	29,846	85,678		

事業効果

自己評価
高く評価できる

・第1期を通じて、要望が寄せられた保育園・学校等や新たに設置された木育ひろばへの木製品導入について助成し、ほぼ目標を達成することができた。
・事業の要望が多いことから、本事業は29年度以降も継続する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	恵みの森づくり推進課
-----	------------

① 事業名	ぎふの木育教材導入支援事業
② 事業目的	将来の森林づくりを担う子どもたちが直接木を見て触れることのできる木製学習教材や木のおもちゃの導入に対して支援することにより、人や自然に対する思いやりとやさしさを考えられる豊かな心を育む「木育」の取り組みを進め、木材利用や環境保全に対する理解につなげる。
③ 事業主体	市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人、子育て関連のNPO法人
④ 事業概要	ぎふの木を使ったおもちゃやキット等の教材の導入への補助

28年度の実施内容

県内13市8町1村の52施設に対し補助を行った。

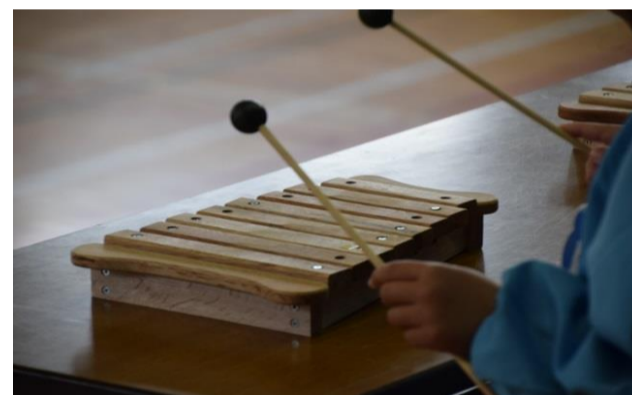
実施状況写真



おもちゃで遊ぶ園児
(社会福祉法人安養福祉会むつみ保育園)



木育教室での教材として活用
(アップル子育てサポートセンター)



学習用教材として活用
(美濃加茂市立山之上保育園)

事業実績

	計画 (A)	実績 (B)	進捗率 (B/A)
事業量	50施設	52施設	104.0 %
事業費	4,000千円	3,920千円	98.0 %

事業効果

自己評価
高く評価できる

県内の各地域にある52施設の木育教材導入に対し補助をし、子どもたちに、県産材を活用した木育教材についての普及を進めることができた。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期計
		計画 (施設数)	50	50	50	50	50
	実績 (施設数)	70	89	51	57	52	319
	進捗率 (%)	140.0	178.0	102.0	114.0	104.0	127.6
	事業費 (千円)	3,946	3,822	2,400	3,227	3,920	17,315

事業効果

自己評価
高く評価できる

・毎年度計画を上回る申請があり県産材を活用した木育教材についての普及を進めることができた。
・事業の要望が多いことから、本事業は29年度以降も継続する。



清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	県産材流通課
-----	--------

① 事業名	木質バイオマス利用施設導入促進事業
② 事業目的	地域の木質バイオマスの利用を促進し、環境にやさしい循環型社会を構築する。
③ 事業主体	市町村、学校法人、社会福祉法人、医療法人、NPO法人、民間事業者等。
④ 事業概要	公共施設等へ木質ペレットやチップ、薪を利用するボイラーやストーブの導入を促進

28年度の実施内容

木質ペレットをガス化し、温泉施設に熱と電気を供給する高効率なシステム(ボイラー)1台の導入を支援。福祉施設や保育園、レストランなどへの薪ストーブ11台、ペレットストーブ8台の導入を支援した。

実施状況写真		
	温泉施設に導入された木質ペレットガス化熱電併給施設 (高山市)	健康増進施設に導入された薪ストーブ (中津川市)

事業実績	事業量	計画 (A) ボイラー2施設 ストーブ67台	実績(B) ボイラー1施設 ストーブ19台	進捗率(B/A) 50.0 % 28.4 %
	事業費	35,000千円	33,601千円	96.0 %

事業効果	自己評価	多くの県民が利用する施設等に木質バイオマスを燃料とするボイラーやストーブ等の導入を支援したことにより、森林内の未利用材を燃料として利用促進を図ることができた。利用した県民に木質バイオマスの利用を推進することで、環境にやさしい低炭素循環型社会の構築に貢献できることを示すことができた。
	概ね評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	計画 (ボイラー/ストーブ)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		実績 (ボイラー/ストーブ)	1	1	2	2	2	10
		進捗率 (%)	100.0	50.8	0.0	50.0	51.0	50.0
	事業費 (千円)	16,423	2,351	19,954	27,495	33,601	99,824	

事業効果	自己評価	・当初は、ボイラーやストーブの導入対象を公共施設のみに限っていたが、平成27年度以降は、不特定多数の県民の利用が十分見込まれる商業・観光・レジャー施設も対象に加え、より多くの県民に、木質バイオマスを貴重な地域資源として活用する取組みを示すことができた。 ・地球温暖化対策として木質バイオマス活用を引き続き進めていく必要があるため、本事業は29年度以降も継続する。
	概ね評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	県産材流通課
-----	--------

① 事業名	県民協働による未利用材の搬出促進事業
② 事業目的	森林内の未利用材の木質バイオマス資源としての利用促進を図り、低炭素型社会の構築を目指す。
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	市町村、地域住民らが一体となって林地残材を搬出する経費を支援する。

28年度の実施内容

9市町村25地域の549人が、林地残材3,323トン进行搬出。森林所有者らが搬出・運搬する未利用材の取引に要する経費のうち、市町村が助成する額の1/2以内の額を支援。

実施状況写真



高山市における未利用材の搬出活動の様子

事業実績	事業量	計画 (A)	実績(B)	進捗率(B/A)
		4,200t	3,323t	79.1 %
	事業費	6,400千円	4,984千円	77.9 %
事業効果	自己評価	年々、参加する地域や参加者が増加し、「活動をきっかけに、自分の森林の管理に対して、関心が高まった」などといった意見が多く聞かれ、所有者の森林管理に対する意欲の向上に役立っている。		
	概ね評価できる			

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	計画 (t)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		実績 (t)	3,130	4,200	4,200	4,200	4,200	20,000
		進捗率 (%)	16.4	23.0	54.3	70.7	79.1	50.3
	事業費 (千円)	748	1,469	3,434	5,063	4,984	15,698	

事業効果	自己評価	・未利用材の取り扱い実績が平成28年度は平成24年度の6倍を超え、利用されることになかった木材を、地域資源として利活用する取組みが広がってきた。未利用材の活用ばかりでなく、地域を活性化する取組みとして評価されてきたことも特筆できる。 ・事業の要望が年々増加していることから、本事業は29年度以降も継続する。
	概ね評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	恵みの森づくり推進課
-----	------------

① 事業名	森と木と水の環境教育推進事業
② 事業目的	・子どもたちを対象に、ぎふの豊かな自然(森・川・里山など)の持つ様々な公益的機能やそれらの保全に関する正しい知識の提供、森・川・海のつながりを実感するためのフィールドを活かした環境教育、木に触れ合うことを通じて自然に親しむ体験活動などの実施に対し支援し、将来の清流の国ぎふを担う人づくりを推進する。
③ 事業主体	県、市町村、学校法人、国立大学法人
④ 事業概要	子どもたちを対象とした、森や木や川に関する環境教育

28年度の実施内容

県内の104の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校で木育教室や緑と水の子ども会議を開催した。また、ぎふ木育キャラバンやぎふ木育交流会を開催するとともに、木育拠点の整備を進めた。

実施状況写真



木育教室の実施
(アップル子育てサポートセンター(郡上市))



緑と水の子ども会議の実施
(神淵小学校(七宗町))



ぎふ木育キャラバンの開催
(岐阜市)

事業実績

事業量	計画(A)	実績(B)	進捗率(B/A)
事業量	80校・園	104校・園	130.0 %
事業費	48,027千円	36,395千円	75.8 %

事業効果

自己評価
高く評価できる

計画を上回る104校・園で、森や木や水に関する体験学習を実施し、木育体験イベントでは、乳幼児からお年寄りまで、木製品に直接ふれあい親しむ機会を創出できた。また、ぎふ木育交流会や木育指導者研修会を通じ、木育のすばらしさを伝える「人づくり」を進めることができた。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期計
		計画(施設数)	80	80	80	80	80
	実績(施設数)	100	103	124	116	104	547
	進捗率(%)	125.0	128.8	155.0	145.0	130.0	136.8
	事業費(千円)	4,879	7,468	9,458	12,765	36,395	70,965

事業効果

自己評価
高く評価できる

・計画を上回る施設で、木育教室や緑と水の子ども会議を実施し、保育園や幼稚園、小・中学校、高等学校のカリキュラムとして定着が図られた。また、ぎふ木育キャラバンやぎふ木育交流会等のイベントを通じて、乳幼児からお年寄りまで、幅広い年齢層の方々に、「ぎふ木育」のすばらしさを普及啓発することができた。
・事業の要望が多いことから、本事業は29年度以降も継続する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課 恵みの森づくり推進課・環境企画課

① 事業名	地域活動支援事業
② 事業目的	・県内の法人、団体が主体となって自ら企画・立案・実行する創意工夫のある森づくりや川づくり及び水環境等の保全活動を支援する。
③ 事業主体	法人、団体
④ 事業概要	県内の団体等が自ら企画・立案・実行する創意工夫ある森づくり・川づくりへの支援

28年度の実施内容

県内の38の団体の活動に対し補助を行った。
このうち、新たに当事業を活用した団体は10団体であった。

実施状況写真



チェーンソーの使い方講習会
(吉田地域活性化委員会)



天神川の生きもの調べ
(長良・自然とくらし楽校)



伐採した木材の活用講座
(可茂森林組合)

事業実績

	計画 (A)	実績 (B)	進捗率 (B/A)
事業量	30件	38件	126.7 %
事業費	23,000千円	18,086千円	78.6 %

事業効果

自己評価
高く評価できる

計画を上回る38団体の森づくり・川づくりの活動に支援をし、13,891人の県民の方に、森づくり・川づくり活動へ参加していただき、森づくり、川づくりについての普及を進めた。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期計
		計画 (件)	20	20	30	30	30
	実績 (件)	31	36	35	42	38	182
	進捗率 (%)	155.0	180.0	116.7	140.0	126.7	140.0
	事業費 (千円)	17,155	18,885	15,891	19,280	18,086	89,297

事業効果

自己評価
高く評価できる

・5年間の途中で計画目標を引き上げたにもかかわらず、それを上回る法人・団体の活動へ支援をすることができ、5年間で51,503人の方に参加いただき、県内の森づくり、川づくりを進めることができた。
・事業の要望が多いことから、本事業は29年度以降も継続する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	恵みの森づくり推進課・県産材流通課・環境企画課
-----	-------------------------

① 事業名	市町村提案事業
② 事業目的	・清流の国ぎふ森林・環境税の考え方(制度案)で5つの施策に掲げる、①環境保全を目的とした水源林等の整備、②里山林の整備・利用の促進、③生物多様性・水環境の保全、④公共施設等における県産材の利用促進、⑤地域が主体となった環境保全活動の促進を効果的に進めるため、地域住民の意向や地域の実情に精通している市町村が特に必要と考える事業に対し支援を行う。
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	市町村からの提案事業に対する補助

28年度の実施内容

28市町における50件の事業に対し補助を行った。

実施状況写真			
	誕生祝品として開発した木のおもちゃ (大野町)	加茂野交流センターに導入した県産材 木製家具(美濃加茂市)	地元高校生(県立吉城高校)による特定 外来生物のボランティア防除作業(飛騨市)

事業実績	事業量	計画(A) 提案数による	実績(B) 50件	進捗率(B/A) —
	事業費	125,000千円	112,213千円	89.8%

事業効果	自己評価	60件の提案の中から採択された、28市町で50件の取組みがされ、森林が少なく比較的市街地の多い地域の市町村でも、地域の課題解決の一助となった。
	高く評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	計画(件)	提案数による					第1期計
		実績(件)	66	62	53	48	50	279
		進捗率(%)	—	—	—	—	—	—
	事業費(千円)	54,481	85,690	110,711	106,823	112,213	469,918	

事業効果	自己評価	・県内のほぼすべての市町村で本事業を活用した取組みがなされ、川上から川下までの県下全域で清流の国ぎふ森林・環境税が活用され、清流の国ぎふ森林・環境税の効果を県民の方に実感してもらうことができた。 ・事業の要望が多いことから、本事業は29年度以降も継続する。
	高く評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	環境企画課
-----	-------

① 事業名	流域清掃活動推進事業
② 事業目的	流域ごとの河川清掃モデルの確立と県民の河川環境保全意識の向上
③ 事業主体	環境保全団体又は流域の共同体組織
④ 事業概要	上下流が連携した河川清掃活動への支援

28年度の実施内容

平成27年度までに補助した3流域の団体が流域の他団体と連携して清掃活動を実施した。

実施状況写真



長良川流域での清掃活動(関市)



揖斐川流域での清掃活動(揖斐川町)



土岐川流域での清掃活動(多治見市)

事業実績	事業量	計画(A) 5流域	実績(B) 3流域	進捗率(B/A) 60.0 %
	事業費	2,300千円	96千円	4.2 %

事業効果	自己評価	平成27年度までに補助した3流域の団体が引き続き流域の他団体と連携した河川清掃活動を実施しており、補助した流域においては、環境保全団体等の連携体制が確立された。 2流域については、事業主体となる団体の発掘に至らなかった。
	概ね評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	計画(流域数)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期計
		実績(流域数)	2	3	3	3	3	3
		進捗率(%)	100.0	100.0	75.0	60.0	60.0	60.0
	事業費(千円)	2,066	2,635	2,045	604	96	7,446	

事業効果	自己評価	・3流域においては、継続的に流域連携の河川清掃活動を自主的に実施されており、補助した流域においては、環境保全団体等の連携体制が確立されたが、2流域については、事業主体となる団体の発掘に至らなかった。 ・モデル構築の事業目的を達成したと認められるため、29年度以降は事業を終了する。
	概ね評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	河川課
-----	-----

① 事業名	流域協働による効率的な河川清掃事業
② 事業目的	流域ごとの河川清掃モデルの確立、県民の河川環境保全意識の向上、清掃活動の環境づくり
③ 事業主体	県
④ 事業概要	上下流域が連携した河川清掃活動の実施

28年度の実施内容

県内5流域のうち、3流域で、樹木伐採や不法投棄廃棄物の回収などを行った。

実施状況写真



樹木伐採の状況(杭瀬川 池田町)



河川内の藻およびゴミの撤去の状況(管瀬川 揖斐川町)

事業実績	事業量	計画 (A) 5流域	実績(B) 3流域	進捗率(B/A) 60.0 %
	事業費	35,000千円	34,998千円	100.0 %
事業効果	自己評価 高く評価できる	NPO等と県が協働・連携し、流域全体で清掃活動を行うことにより、県民の河川環境保全意識が向上した。		

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	計画 (流域数)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		実績 (流域数)	2	3	4	5	5	5
		進捗率 (%)	2	3	4	3	3	4
	事業費 (千円)	100.0	100.0	100.0	60.0	60.0	80.0	191,085
事業効果	自己評価	・NPO、地域住民等の民間団体と現地確認などを行い、協働で事業を実施することにより、県民の河川環境に対する意識を向上させることができた。						
	高く評価できる	・ゴミの集積しやすい場所や樹木が繁茂している場所を集中的に清掃・整備することにより効率的な河川環境整備を実施した。 ・水環境の保全に引き続き取り組む必要があるため、本事業は29年度以降も継続する。						

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	環境企画課
-----	-------

① 事業名	イタセンパラ生息域外保全推進事業
② 事業目的	総合的な飼育・繁殖技術に関する研究開発を行いながら、本種の生息域外保全を推進
③ 事業主体	県
④ 事業概要	イタセンパラ(国内希少野生動物種)の生息域外保全

28年度の実施内容

- ・イタセンパラの自然産卵による効率的な飼育・繁殖技術の開発
- ・イタセンパラが産卵基盤として利用する二枚貝(イシガイ)の長期間飼育技術及び人為環境下での再生産技術の開発

実施状況写真	 <p>稚魚泳出確認</p>	 <p>DNAの洗浄・遊出</p>	 <p>普及啓発・生体展示</p>
	自然産卵による効率的な繁殖技術の開発	産卵母貝(イシガイ)を開けずにイタセンパラの産卵を確認する方法の開発	イタセンパラを活用した絶滅危惧種の保存等に係る啓発

事業実績	事業量	計画(A)	実績(B)	進捗率(B/A)
		1件	1件	100.0 %
	事業費	618千円	565千円	91.4 %

事業効果	自己評価	水産研究所に整備した野外池にイタセンパラ親魚を導入し、産卵母貝(イシガイ)に産卵させ、継続した再生産を確認できたことから、飼育・繁殖技術を得ることができた。
	高く評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期計
	事業量	計画(件数)	1	1	1	1	1	1
		実績(件数)	1	1	1	1	1	1
		進捗率(%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	事業費(千円)	13,857	329	581	588	565	15,920	

事業効果	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・水産研究所に整備した野外池にて、継続的にイタセンパラの再生産を確認できており、イシガイの飼育も含めイタセンパラの産卵や飼育環境に関する技術が確立された。 ・今後は「生物多様性に配慮した地域づくり普及推進事業」として、効率的かつ安定的に繁殖させるための技術向上とともに、生物多様性の保全再生に関する普及啓発を進めていく。
	高く評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	農村振興課
-----	-------

① 事業名	野生生物保護管理事業(ニホンジカの捕獲)
② 事業目的	個体数調整を目的としてニホンジカの捕獲等を推進し、農林業や生活環境等への被害軽減を図る。
③ 事業主体	市町村、地域協議会(わなを中心とした捕獲体制のモデル事業に限る)
④ 事業概要	ニホンジカの個体数調整を目的とした捕獲等に係る助成

28年度の実施内容

- ・個体数調整捕獲は13市町に対する助成を行った。
- ・わな捕獲を中心とした捕獲体制のモデル事業は12地区に助成を行った。
- ・わな捕獲技術向上研修会は県内3か所で開催した。
- ・指定管理鳥獣等捕獲事業によりニホンジカ445頭を捕獲した。

実施状況写真



モデル事業取組状況(集落環境点検の様子)



わな捕獲技術向上研修会



モデル事業取組状況(捕獲されたニホンジカ)

事業実績

事業量	計画(A)	実績(B)	進捗率(B/A)
7,000頭	7,000頭	4,313頭	61.6%
事業費	98,750千円	62,002千円	62.8%

※個体数調整+指定管理鳥獣

事業効果

自己評価

概ね評価できる

目標値を下回ったのは、平成28年度は積雪が少なく、エサを求めて里に下りてくる個体が少なかったことと足跡等で居場所を判断することが難しく、捕獲が容易でなかったためである。
27年度と比較すると個体数調整捕獲事業による捕獲頭数は952頭、指定管理鳥獣捕獲等事業によるニホンジカの捕獲頭数は385頭の増となり、捕獲圧を高めることができた。

第1期 事業実績 及び 評価

※個体数調整捕獲事業

事業実績	事業量	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期計
		計画(捕獲頭数)	600	1,600	4,000	3,100	6,500
	実績(捕獲頭数)	1,362	1,884	5,653	2,916	3,868	15,683
	進捗率(%)	227.0	117.8	141.3	94.1	59.5	99.3
	事業費(千円)	11,575	21,141	67,186	45,209	62,002	207,113

事業効果

自己評価

概ね評価できる

・平成24~28年度におけるニホンジカの個体数調整の捕獲実績については、概ね計画どおりとなった。
・本事業は、捕獲の対象をイノシシやカワウに拡大して、29年度以降も継続する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

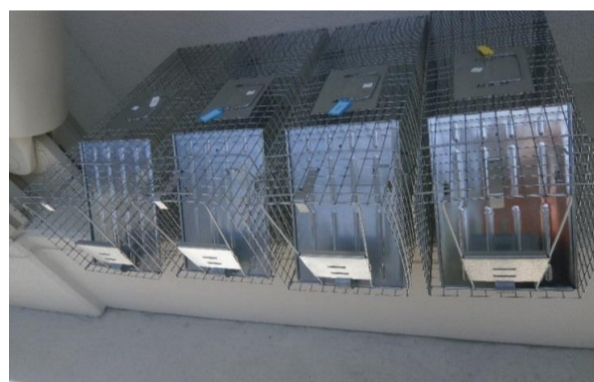
担当課	農村振興課
-----	-------

① 事業名	野生生物保護管理事業(捕獲オリ等の購入)
② 事業目的	特定外来生物であるアライグマやヌートリアの捕獲を推進する
③ 事業主体	市町村、NPO法人等
④ 事業概要	特定外来生物捕獲用のオリ及び処理設備の購入費の助成

28年度の実施内容

・市町村、NPO法人等合わせてオリ82基、処理設備1基を導入した。

実施状況写真



導入されたオリの一例



オリで捕獲されたヌートリア



本事業で購入された処理設備

事業実績

事業量	計画 (A)	実績(B)	進捗率(B/A)
オリ	75基	82基	109.3 %
処理設備	10基	1基	10.0 %
事業費	1,800千円	896千円	49.8 %

事業効果

自己評価

概ね評価できる

本事業で購入したオリにより、アライグマ68頭、ヌートリア42頭が捕獲された。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	年度										第1期 計	
		24年度		25年度		26年度		27年度		28年度		500	50
		計画 (オリ/処理設備)	実績 (オリ/処理設備)	計画 (オリ/処理設備)	実績 (オリ/処理設備)	計画 (オリ/処理設備)	実績 (オリ/処理設備)	計画 (オリ/処理設備)	実績 (オリ/処理設備)	計画 (オリ/処理設備)	実績 (オリ/処理設備)		
	進捗率 (%)	74.0	20.0	34.0	10.0	35.0	0.0	117.3	0.0	109.3	10.0	62.6	8.0
	事業費 (千円)	438		234		135		811		896		2,514	

事業効果

自己評価

概ね評価できる

・オリは14市町、6団体に導入された。処理施設は4市町に導入された。
 ・いずれもアライグマやヌートリアの捕獲に貢献した。
 ・処理設備は要望が低調であること、オリ導入は国庫補助事業ができたことから、29年度以降は事業を廃止する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	農村振興課
-----	-------

① 事業名	野生生物保護管理事業(捕獲の担い手の確保)
② 事業目的	農林業や生活環境被害の拡大に伴う有害鳥獣捕獲に対応できる市町村職員を育成する。
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	市町村職員が有害捕獲に重視するための銃所持などにかかる助成

28年度の実施内容

1市において1名の従事者を育成することができた。

実施状況写真



平成28年度事業で購入された銃など



当事業で育成された職員の捕獲活動の様子

事業実績

事業量	計画(A)	実績(B)	進捗率(B/A)
事業量	7人	1人	14.3 %
事業費	3,500千円	268千円	7.7 %

事業効果

自己評価
概ね評価できる

今後、有害捕獲に従事する職員を1名育成することができた。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		計画(人)	5	5	5	5	7	25
		実績(人)	1	6	4	7	1	19
		進捗率(%)	20.0	120.0	80.0	140.0	14.3	76.0
事業費(千円)			436	2,338	1,651	3,083	268	7,776

事業効果

自己評価
概ね評価できる

・5年間で8市町村計19名の市町村職員を育成することができた。職員は現地において有害鳥獣捕獲に従事している。
・有害鳥獣対策を進める上で必要であるため、本事業は29年度以降も継続する。

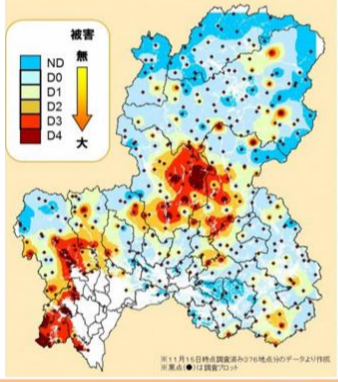

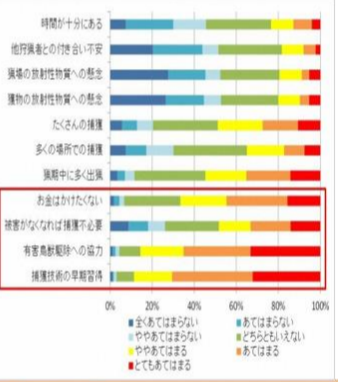

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	環境企画課
-----	-------

① 事業名	野生動物総合対策推進事業
② 事業目的	大学において、野生動物の保護管理に関する研究を行うとともに、その成果の普及を行い、本県の野生動物保護管理対策の向上に寄与することを目的とする。
③ 事業主体	岐阜大学応用生物科学部附属野生動物管理学研究センター 鳥獣対策研究部門
④ 事業概要	岐阜県の野生動物管理に関する調査研究及び政策提案や人材育成

28年度の実施内容

- ・6つの研究課題について研究を進めた。
- ・シンポジウムや講習会などを通して人材育成を実施した。

実施状況写真	<p>調査研究例</p> <p>ニホンジカ森林被害モニタリング 下層植生衰退度調査</p> 	<p>「誘引誘導型捕獲法」の開発 普及・体制づくり</p>  <p>誘引誘導型捕獲法 ① 誘引 ② 行動を制御 ⇒ 効率の向上</p>	<p>狩猟者アンケート 狩猟免許受験者アンケートの解析</p> 	 <p>シンポジウムH28. 7. 20 「鳥害研究最前線～カラスとカワウ～」</p>
	⇒ 野生動物管理に関する政策・施策提言や助言			

事業実績	事業量	計画 (A)	実績 (B)	進捗率 (B/A)
		1機関	1機関	100.0 %
事業費	21,248千円	20,856千円	98.2 %	

事業効果	自己評価	6課題について研究を進め、施策の提案やシンポジウム等を通じて、野生動物管理に関する研究成果の普及を進めた。
	概ね評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	計画 (機関数)	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		実績 (機関数)	1	1	1	1	1	1
		進捗率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	事業費 (千円)	20,580	20,717	21,013	20,982	20,856	104,148	

事業効果	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・5年間実施した6つの課題の研究成果について、施策の提案を行い、各種計画等の政策に反映した。また、シンポジウムやセミナーなどを通じ、野生動物管理に関する研究成果の普及を進めることができた。 ・有害鳥獣対策を進める上で必要であるため、本事業は29年度以降も継続する。
	概ね評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	環境企画課
-----	-------

① 事業名	上流域と下流域の交流事業
② 事業目的	上下流域の自然体験や環境保全活動を通じて子どもたちの森川海のつながりの理解を深め、環境保全意識を育む
③ 事業主体	県
④ 事業概要	森川海のつながりを踏まえた自然環境、環境保全の理解を深めるツアーを催行する。

28年度の実施内容

小中学生とその保護者を対象とした自然体験活動・環境学習・環境保全活動を行うツアー22コースを実施し、479人が参加した。

実施状況写真



地元漁師による投網漁(岐阜市長良川)



森のお手入れ(郡上市ひるがの高原)



鳥獣被害の学習(郡上市白鳥町)

事業実績

事業量	計画 (A)	実績(B)	進捗率(B/A)
事業量	20コース	22コース	110.0 %
事業費	9,997千円	9,723千円	97.3 %

事業効果

自己評価
高く評価できる

地域の環境団体等と連携したツアーを催行し、アンケート調査では、参加者の8割以上が自然環境への関心・理解、環境保全意識が高まり、約9割の方が森・川・海の手ながりについて理解を深めたとの結果を得た。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計	
		計画(回)	15	15	15	20	20	75
		実績(回)	17	16	13	18	22	86
		進捗率(%)	113.3	106.7	86.7	90.0	110.0	114.7
事業費(千円)		7,578	7,546	7,860	9,154	9,723	41,861	

事業効果

自己評価
高く評価できる。

・計画を上回る回数のツアーを実施し、計画人数以上の方に参加いただいた。アンケート結果では、8割以上の方から、ツアーにより環境保全意識が高まったとの回答を得た(アンケートはH27,H28実施)。
・参加者の評価が高く、環境保全意識の向上に資するものと認められるため、本事業は29年度以降も継続する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	環境管理課
-----	-------

① 事業名	地域協働水質改善事業
② 事業目的	地域河川の水質問題等に対する地域の取り組みへの支援
③ 事業主体	住民、協議会(住民代表、環境NPO、流域事業所、輪之内町、県関係機関等)
④ 事業概要	輪之内町内を流れる大樽川及びその流域河川の水質改善活動の支援

28年度の実施内容

大樽川及びその流域河川における河川環境調査の実施及び輪之内町が輪之内町地域協働水質改善協議会と実施する環境保全活動に助成を行った。

実施状況写真



中江川親水広場の整備



岐阜大学と提携した環境学習の様子(6月)



岐阜大学と提携した環境学習の様子(7月)

事業実績

事業量	計画 (A)	実績(B)	進捗率(B/A)
	1件	1件	100.0 %
事業費	8,451千円	7,712千円	91.3 %

事業効果

自己評価
概ね評価できる

事業当初に比べ、水質指標(BOD、透視度)は改善傾向にある。また、環境学習等で河川環境に対する住民意識の向上が図られた。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		計画 (件)	1	1	1	1	1
	実績 (件)	1	1	1	1	1	1
	進捗率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	事業費 (千円)	855	6,712	3,693	8,484	7,712	27,456

事業効果

自己評価
概ね評価できる

・ふれあいフェスタや大樽川エキスポ等の環境イベント、岐阜大学と連携した町内小学校での環境学習等の啓発活動や親水広場の設置により、町民への水辺への関心が高まり、河川環境改善の意識の高揚が図られた。また、河川への環境導水井戸の設置や接触材による河川の直接浄化、町民参加の河川清掃大会、家庭・事業所・農地における排水対策の実施により、当初と比較して河川の水質(BOD、透視度)に一定の改善が図られた。
・モデル構築の事業目的を達成したと認められるため、28年度で事業を終了する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	環境管理課
-----	-------

① 事業名	森から生まれる環境価値普及促進事業
② 事業目的	カーボン・オフセットの取組みについて、県内外への普及啓発を図るとともに、岐阜県産J-VERクレジットの販売促進を図る。
③ 事業主体	(委託)受託者、(補助)法人、事業者
④ 事業概要	カーボン・オフセットを行う団体支援、岐阜県産J-VERの普及啓発

28年度の実施内容

- ・イベント出展等普及啓発として、新聞掲載3回、セミナー開催3回、イベント出展2回などを実施した。
- ・カーボン・オフセット商品の開発支援として、3件の補助を実施した。

実施状況写真			
	清流の国ぎふJ-VERに関する新聞 広告の掲載(中部経済新聞掲載)	清流の国ぎふJ-VERに関するセミナー (名古屋商工会議所)	飛驒の家具フェスティバル2016に出展 (飛驒・世界生活文化センター)

事業実績		計画(A)	実績(B)	進捗率(B/A)
	事業量	9団体	3団体	33.3
	普及啓発5件	普及啓発5件	100.0	%
事業費	5,000千円	3,656千円	73.1 %	

事業効果	自己評価	オフセット商品の開発支援やイベント出展等の普及啓発等によりカーボン・オフセットの取組が推進された。
	概ね評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計							
	事業量	計画(件数) (補助/啓発)	9	8	9	3	9	7	9	5	9	5	45	28
		実績(件数) (補助/啓発)	8	9	7	5	4	9	2	7	3	5	24	35
		進捗率(%)	88.9	112.5	77.8	166.7	44.4	128.6	22.2	140.0	33.3	100.0	53.3	125.0
事業費(千円)	4,547	4,372	3,587	3,425	3,656	19,587								

事業効果	自己評価	・オフセット商品の開発支援やイベント出展等の普及啓発等によりカーボン・オフセットの取組が推進された。 ・補助事業の要望が低調であるため、29年度以降は事業を廃止する。
	概ね評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	環境企画課
-----	-------

① 事業名	エコツーリズム促進事業
② 事業目的	エコツアーを実施する団体等の商業的自立の促進とエコツーリズムの普及定着
③ 事業主体	市町村、団体(一般県民)
④ 事業概要	エコツーリズム連携会議の開催、団体への支援

28年度の実施内容

- ・エコツーリズム連携会議及び経営セミナーの開催
- ・エコツーリズムに取り組む団体への支援(6団体)

実施状況写真



エコツーリズム連携会議実施状況



経営セミナー実施状況



エコツアープログラムの作成検討会実施状況

事業実績

事業量	計画(A)	実績(B)	進捗率(B/A)
	4件	6件	150.0 %
事業費	7,270千円	4,764千円	65.5 %

事業効果

自己評価
高く評価できる

エコツーリズムを普及・定着させるため、6団体への助成やエコツーリズム推進会議を開催し、推進体制の整備や地域資源の整備及びエコツアーガイド育成などを支援し、自律的な運営体制の確立を促した。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期計
		計画(補助件数)	3	3	4	4	4
	実績(補助件数)	4	5	5	5	6	25
	進捗率(%)	133.3	166.7	125.0	125.0	150.0	138.9
	事業費(千円)	4,626	4,637	7,802	7,272	4,764	29,101

事業効果

自己評価
高く評価できる

・エコツーリズムを普及・定着させるため、25団体への助成やエコツーリズム推進会議を開催し、推進体制の整備や地域資源の整備及びエコツアーガイド育成などを支援し、自律的な運営体制の確立を促すことができた。
・モデル事業としての事業目的を達成したと認められるため、事業を終了する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	環境企画課
-----	-------

① 事業名	生物多様性に配慮した地域づくり普及推進事業
② 事業目的	県民、企業、市町村、民間団体等多様な主体が、それぞれの地域にとって「好ましい自然」とは何かを考え、生物多様性保全・再生に向けた行動につなげていく社会づくりを目指す。
③ 事業主体	県
④ 事業概要	生物多様性に対する理解の促進

28年度の実施内容

- ・生物多様性シンポジウムの開催
- ・外来生物対策・生物多様性保全に係る専門家を派遣
- ・生物多様性ぎふデータベースの整備

実施状況写真



シンポジウム 講演



シンポジウム 活動報告



専門家派遣による講演会

事業実績

	計画 (A)	実績 (B)	進捗率 (B/A)
事業量	シンポジウム1回 講師派遣5回	シンポジウム1回 講師派遣1回	33.3 %
事業費	1,000千円	291千円	29.1 %

事業効果

自己評価
概ね評価できる

・シンポジウムには一般の県民をはじめ、研究者・教員、学生、自治体職員など計95名の方に参加して頂き、講演や報告会で、動物や植物など外来種の現状や防除活動の実態、今後の対策など、広く啓発し、意見交換を行い、問題点のあぶり出しや関係機関の連携を深めることができた。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		計画 (機関数)	一式				
	実績 (機関数)	専門家派遣8回	地域セミナー5回	シンポジウム2回	シンポジウム1回	シンポジウム1回 講師派遣1回	シンポジウム等9回 講師派遣等9回
	進捗率 (%)	—	—	—	—	—	—
	事業費 (千円)	0	529	854	187	291	1,861

事業効果

自己評価
概ね評価できる

・県WEBサイト内に「生物多様性ぎふデータベース」を構築するとともに、求めに応じて生物多様性や外来生物対策の専門家を派遣してきた。また、事業実績は未達成ではあるものの、生物多様性シンポジウムを毎年開催するとともに、シンポジウムにおいては、8割以上の参加者から、生物多様性に配慮した地域づくり等に対して「理解できた」「おおむね理解できた」といったアンケート結果をいただいている。

・引き続き生物多様性の保全に取り組むとともに、普及を行っていく必要があるため、本事業は29年度以降も継続する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	農地整備課
-----	-------

① 事業名	生きものにぎわうため池再生事業
② 事業目的	ため池に生息する外来種を駆除することにより、里地の生態系の保全を図るモデル的な取り組み等を推進する
③ 事業主体	県
④ 事業概要	ため池に生息する外来種の駆除

28年度の実施内容

県内のため池5箇所で生息する外来種の駆除を実施した。

実施状況写真



捕獲状況-大原池(美濃加茂市)-



捕獲した外来種-広恵寺ため池(中津川市)-

事業実績

	計画 (A)	実績(B)	進捗率(B/A)
事業量	5箇所	5箇所	100.0 %
事業費	3,000千円	2,547千円	84.9 %

事業効果

自己評価
高く評価できる

生態系の保全は、事業を実施した段階で達成された。官民協働により関係者には事業の意義を理解していただけた。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
事業量	計画 (箇所数)	5	5	5	5	5	25
	実績 (箇所数)	5	5	5	6	5	26
	進捗率 (%)	100.0	100.0	100.0	120.0	100.0	104.0
事業費 (千円)		2,405	2,483	2,376	2,515	2,547	12,326

事業効果

自己評価
高く評価できる

・5箇年で目標25箇所を上回る26箇所のため池で事業を実施し、ブラックバスやブルーギル等、約14万匹の外来種を駆除した。
 ・地域住民と行政等が協働で調査を実施した事や、外来種の放流禁止の警告看板を設置した事により、地域住民の意識向上や、一定の啓発効果があったと考えている。
 ・引き続き水環境における生態系保全に取り組む必要があるため、本事業は29年度以降も継続する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	農村振興課
-----	-------

① 事業名	生きものにぎわう水田再生事業
② 事業目的	水田魚道の設置を促進することで、生態系保全とともに地域の環境意識の高揚、環境保全型農業の発展につなげる。
③ 事業主体	県
④ 事業概要	①水田魚道の設置促進(研修会の開催) ②水田魚道の効果検証

28年度の実施内容

- ・関市上白金地区で水田魚道実施研修会を実施
- ・魚類群集の調査を県下221地点、水田魚道の遡上降下調査を自動計測装置を使用し、海津市(2地点)、岐阜農林高等学校で実施

実施状況写真				
	水田魚道研修(座学)	水田魚道研修(設置)	排水路魚類群集調査	水田魚道遡上状況

事業実績	事業量	計画(A) 1地区	実績(B) 1地区	進捗率(B/A) 100.0%
	事業費	4,000千円	3,267千円	81.7%

事業効果	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・計画とおり1地区において研修会を開催し、水田魚道を設置することができた。 ・次期対策に掲げる水みちの連続性を図る上での最初のモデル地区になる。今後その効果検証が必要。
	概ね評価できる	

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期計
	事業量	計画(地区数)	1	1	1	1	1	5
		実績(地区数)	1	1	2	3	1	8
		進捗率(%)	100.0	100.0	200.0	300.0	100.0	160.0
事業費(千円)		2,090	2,166	2,237	2,990	3,267	12,750	

事業効果	自己評価	<ul style="list-style-type: none"> ・実績としては、計画以上に設置することが出来た。 ・排水路の魚類群集の調査による地域別の魚種の状況、落差工による魚類の生息数、生息種への影響、魚種ごとの水田魚道を活用する時間帯等の把握ができた。 ・それを基にハンドブックを作成しており、今後の設置促進につなげていく。 ・引き続き水環境における生態系保全に取り組む必要があるため、本事業は29年度以降も継続する。
	概ね評価できる	

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	農村振興課
-----	-------

① 事業名	里地里川生態系保全支援事業(団体支援)
② 事業目的	・団体がおこなう里地里川の生態系を復活又は保全するモデル的な取り組みを支援することで、県内の里地里川における生態系保全につなげる。
③ 事業主体	特定非営利活動法人、地域団体等
④ 事業概要	生態系に配慮した農業用水路の整備、水田や用排水路等を活用した環境教育の実施など、里地里川の生態系を復活するモデル的取り組みへの支援

28年度の実施内容

外部有識者による評価会議を経て、6団体で里地里川の生態系を保全するモデル的な取り組みを実施

実施状況写真



池干しと生きもの調査



再生した耕作放棄地での田植え体験



再生した耕作放棄地での薬草栽培



絶滅危惧種の保全のための環境整備

事業実績

	計画 (A)	実績(B)	進捗率(B/A)
事業量	4団体	6団体	150.0 %
事業費	17,700千円	9,872千円	55.8 %

事業効果

自己評価	・目標以上の団体を採択し、里地里川の生態系等の復活に向けた取り組みを支援することが出来た。
概ね評価できる	・1団体新たに取組む活動組織は出てきたものの、新たな活動への展開が進んでいない。

第1期 事業実績 及び 評価

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計	
		事業実績	事業量	計画 (団体数)	4	4	4	4
事業量	実績 (団体数)		4	5	5	5	6	25
事業量	進捗率 (%)		100.0	125.0	125.0	125.0	150.0	125.0
事業実績	事業費 (千円)	7,761	7,217	9,506	9,584	9,872	43,940	

事業効果

自己評価	・目標以上の団体で活動を実施することは出来た。
概ね評価できる	・しかしながら、次期対策に向けては新たな活動展開に向け、積極的なPRの実施、もっと取組易い制度等に変更していく必要がある。 ・引き続き里地里川での生態系保全に取り組む必要があるため、本事業は29年度以降も継続する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	農村振興課
-----	-------

① 事業名	里地里川生態系保全支援事業(市町村支援)
② 事業目的	市町村がおこなう里地里川の生態系保全の取り組みを支援することで、県内の里地里川における生態系保全につなげる。
③ 事業主体	市町村
④ 事業概要	水田や用排水路におけるスクミリングガイの駆除など

28年度の実施内容

・6市町(各務原市、瑞穂市、本巣市、笠松町、岐南町、輪之内町)でスクミリングガイ(通称:ジャンボタニシ)の駆除を実施

実施状況写真



駆除状況(輪之内町)



駆除した成貝(瑞穂市)

事業実績

	計画(A)	実績(B)	進捗率(B/A)
事業量	5市町村	6市町	120.0 %
事業費	11,070千円	8,443千円	76.3 %

事業効果

自己評価
概ね評価できる

平成28年度は、岐阜・西濃地区でスクミリングガイによる被害が農業共済事業関連で報告されている。その中では本事業実施市町村においては駆除量は増大する一方で、大きな被害は報告されておらず、事業実施の効果があったと考える。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績

		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
事業量	計画(団体数)	5	5	5	5	5	25
	実績(団体数)	4	6	6	6	6	28
	進捗率(%)	80.0	120.0	120.0	120.0	120.0	112.0
事業費(千円)		3,033	4,855	5,173	8,113	8,443	29,617

事業効果

自己評価
概ね評価できる

・事業費当たりの駆除量については、市町で乖離はあるものの駆除効率は上がっていると思われる。
・今後は市町村だけでなく地域一体となった対策(成貝の越冬防止のための冬場の耕起による破碎と低温にさらすことによる死滅や田植え以降の浅水管理等)が必要。
・引き続き里地里川での生態系保全に取り組む必要があるため、本事業は29年度以降も継続する。

清流の国ぎふ森林・環境基金事業評価シート(概要版)

担当課	河川課
-----	-----

① 事業名	河川魚道の機能回復事業
② 事業目的	河川の連続性の確保、魚がすみやすい環境の創出
③ 事業主体	県、フィッシュウェイサポーター
④ 事業概要	魚道点検、魚道内の堆積土砂除去や魚道施設の補修

28年度の実施内容

県内672箇所の魚道をフィッシュウェイサポーターと協働で点検を行った。
点検結果に基づき魚道の修繕を行った。

実施状況写真



フィッシュウェイサポーターとの魚道点検
【武儀川(山県市)】



○魚道の修繕状況【藤古川(大垣市) 左:堆積土砂除去前 右:堆積土砂除去後】

事業実績

	計画 (A)	実績 (B)	進捗率 (B/A)
事業量	50箇所	53箇所	106.0 %
事業費	64,300千円	64,298千円	100.0 %

事業効果

自己評価
高く評価できる

フィッシュウェイサポーターと協働で点検を行い、維持修繕が必要とされた魚道について対策を行い、機能回復を図ることができた。

第1期 事業実績 及び 評価

事業実績	事業量	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	第1期 計
		計画 (修繕箇所数)	50	50	50	50	50
実績 (修繕箇所数)	33	40	57	99	53	282	
進捗率 (%)	66.0	80.0	114.0	198.0	106.0	111.5	
事業費 (千円)	44,830	4,999	69,862	49,969	64,298	233,958	

事業効果

自己評価
高く評価できる

・平成24年度にC判定だった魚道のうち、98%の魚道の機能回復を図ることができた。
・多くのフィッシュウェイサポーターと協働で点検を行い、維持管理が必要な魚道について対策することができた。
・引き続き水環境における生態系保全に取り組む必要があるため、本事業は29年度以降も継続する。